

# 令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立湖北中学校)

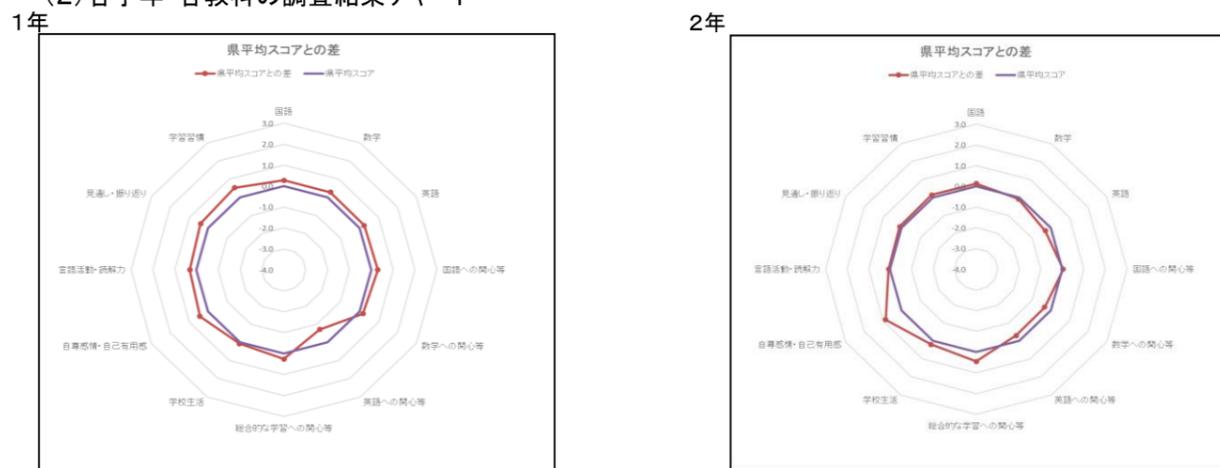
## (1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	国語	○全体的には県平均を上回っており、日頃の学びが学力の定着につながっている。特に、伝統的な言語に関する学びについては定着力が高い。 ●「書く」ことについては、内容を捉えられても、そこに自分なりの考えを加えて書くことに困難さを持っている。	・知識が長く定着するよう、歴史的仮名遣いなど定期的に繰り返し復習する時間を設ける。 ・単元全体の振り返りの中に、その単元での学習を踏まえて自身が感じたことや考えたことをまとめる時間を設ける。
	数学	○全体的に県平均を上回っている。特に「式」と「事象」をつなげる力をもっていることが強みである。 ●小学校からの積み上げに個人差があり、学習が進むにつれてその差が広がっている傾向がある。	・日々の授業の中で説明を書いたり、話したりする機会を引き続き設けていきたい。 ・2年生になってから、1年生の内容を課題にして家庭学習に取り組みせたり、授業の中でも既習事項を復習する機会を設けていきたい。
	英語	○全体的には県平均を上回っており、特に「読む」「書く」といった難易度の高い問題での正答率が高かった。 ●平均としては県を上回っているが、個別には学力差が大きく、記述問題では無回答率も高い。	・授業の帯活動として、毎回の授業でスピーキング活動を行い、過去に学習したことを活用したり、発展的な表現を学習することができる機会を作る。 ・教師による個別支援はもちろん、ペアやグループでの教えあいを活かして、基礎・基本の徹底をはかる。
2年	国語	○全体的には県平均を上回っており、特に「話す・聞く」の力が高い。正しいものを選んだり、漢字を正確に読み書きする力をもっていることが強みである。 ●文の内容を読み取り、自分の考えを述べたり、情報を用いて意見文を書くなど、書くことに困難さをもっている。	・授業の中で、書く場面を意図的に設け、書いたものを他者から認めてもらう活動を通して、書くことへの抵抗をなくしていく。 ・文章を正しく読み取る力をつけるために、授業で扱う文章を繰り返し読み、正しく理解する機会を設けていきたい。
	数学	○全体的に県平均を下回っているが、「関数」領域では県平均を上回っている。 ●1学年末に学習した内容が定着していないと感じる。	・学習内容に関連する既習内容を復習する問題に取り組む機会を設ける。 ・学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図り、個人はもちろん、学年の学力向上を目指す。
	英語	●聞く・書く・読む能力全体的に課題があり、県平均を下回った。 ●特に語と語のつながりを意識して英作文を書くことに課題がある。	・既習学習の復習をする時間も取り入れながら、基礎的な力定着させる。 ・帯活動で語順を意識して英作文をする時間を設けるようにする。

## (3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○わからないことをそのままにせず、調べたり友だち・教員に聞いたりしてわかるようになるようとしている生徒が多い。 ○総合的な学習の時間における地域課題の課題解決学習にも意欲的に取り組んだ。	・ペアやグループ活動を継続して取り入れ、話し合い活動を今度も活発化させ、個々の学力を向上させる。 ・生徒の「わからない」という発言を大切にし、学び合う集団に高める。
	家庭学習に関わる事項	○学校の宿題や復習には、多くの生徒がきちんと取り組んでいる。 ○家庭学習を平日1時間以上行っている割合が高い。	・テスト計画表の活用を充実させ、テスト前だけでなく普段の家庭学習にも生かせるようにする。 ・予習の方法を教員が提示したり、予習をしている生徒の方法を伝えたりする。
2年	授業改善に関わる事項	○地域に対する関心が高く、総合的な学習の時間における地域課題の課題解決学習にも意欲的に取り組んだ。 ●授業で話し合い活動を良く行っているが、自分の考えを発表する機会が思うように得られていない場合がある。	・学習内容によって、学習形態を工夫し、あきらめず授業に取り組むようにしたい。 ・自分の考えを発表するだけでなく、他の人の考えを聞くこともできるよう、ペアやグループ活動を継続させる。
	家庭学習に関わる事項	●携帯電話の使用時間1時間未満の生徒の割合が、昨年より半減している。 ●家庭学習を平日1時間以上行っている生徒の割合が低い。	・計画的に課題を出す。 ・家庭での過ごし方を見直し、メディアコントロールしたり、テスト期間以外にも計画を立てて勉強したりするよう提案する。

## (2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	72	56	66
	松江市	69	52	64
	島根県	68	49	62

(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
2年生	本校	79	36	47
	松江市	77	40	54
	島根県	77	38	53

受検者数  
1年生 52人

受検者数  
2年生 53人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

## (4) 生活・学習に関する意識調査の結果

